

第1表

6日野七小発第105号

令和7年2月27日

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第七小学校

校 長 名 大 西 浩 之
(公印省略)

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

日本国憲法・教育基本法の精神及び理念に基づき、東京都の教育目標及び第4次日野市学校教育基本構想を受け、児童・地域の実態を踏まえ、日野市の教育目標の実現を目指す。自立した人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造する力と他者と地域社会に関わろうとする力を育成するために学校の教育目標を以下のように設定する。

◎自ら考え学び続ける子【自ら課題を見付け、考え、自分の力で学び続ける児童<課題解決力>】

○思いやりをもち行動する子【思いやりのある行動をする児童<コミュニケーション力>】

○心と体の健康をつくる子【運動と健康・安全に気を付ける児童<心身の調和的発達と実践力>】

○協働してやりぬく子【協働して最後までやりぬく児童<自己実現への実践力>】

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校キャッチフレーズを「一人一人を大切に、みんなの笑顔がはじける学校」とし、「みんなが笑顔プロジェクト」を立ち上げ、児童が自分と他者の多様な個性を認め合い、協働する力を身に付けるとともに、一人一人の居場所と活躍の場を支える取組を展開するため、創意ある教育課程を編成し、実施する。

ア 自ら考え学び続ける子 <課題解決力>を育成するために

- ・探究プロセスやUDL、単元内自由進度学習、学校ならではの対話を取り入れた授業を行い、児童が自ら課題をもち、誰もが自立的に学び進める学習の充実を図る。

イ 思いやりをもち行動する子 <コミュニケーション力>を育成するために

- ・たてわり班活動やホンモノの体験、地域、異文化理解を図る交流活動を通して、豊かな人間性を育み、様々な人と関わる機会をつくる。

ウ 心と体の健康をつくる子 <心身の調和的発達と実践力>を育成するために

- ・体育授業の改善や体育委員会の企画などを通して、日常的に運動に親しむ機会をつくり、生命の安全、生活・交通・災害の危険について理解し、自ら身を守れる児童を育成する。

エ 協働してやりぬく子<自己実現への実践力>を育成するために

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働本部との連携によって、地域を学びのステージとした教育活動を展開し、多くの方と協働し、地域に貢献しようとする児童を育成する。